

Cisco WebAttendant の交換/CallManager アテンダント コンソールのインストール

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Cisco CallManager Attendant Console をダウンロードし、インストールします](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco CallManager Attendant Console は、アテンダント コンソールとして Cisco IP Phone の設定を可能にするクライアント/サーバ アプリケーションです。Cisco CallManager Attendant Console クライアントは電話番号を提供し、ライン ステータス検知 するための速度 Dial ボタンおよびすばやいディレクトリ アクセスを含むアテンダント コンソールとして Cisco IP Phone を制御するためにグラフィカル ユーザ インターフェイスを、およびダイレクト コールを監視します。受付係が管理スタッフ 部門または会社のための呼び出しを扱うのにまたはユーザーによって Cisco CallManager Attendant Console が使用することができます。

Cisco CallManagerシステムに IP接続がある PC でインストールされている Cisco CallManager Attendant Console クライアントはプラグイン アプリケーションです。Cisco Unified CallManager (アテンダント コンソールとして使用する) 各に電話のための 1 人のクライアント登録されているクライアントは Cisco IP Phone と共にはたります。複数のアテンダント コンソール クライアントは単一 Cisco Unified CallManager に接続することができます。

Cisco Unified CallManager で動作する Cisco Telephony Call Dispatcher (TCD) サービスは呼ルーティングおよび制御のための Cisco アテンダント コンソール クライアントと、モニタ通信し、ライン状態、およびサービス クライアント Database 要求を報告します。

ユーザを追加し、呼ルーティングのためのパイロット ポイントおよびハント グループを設定し、TCD サービスを開始し、Cisco CallManager Administration を使用して停止することのような管理 タスクは実行された。

また Cisco CallManager Attendant Console サーバアプリケーションが呼ルーティングのためのハント グループを作成するのに単独で使用することができます。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco CallManager の管理
- Microsoft Windows オペレーティング システム

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

サーバのための必要条件

- Cisco Unified CallManager 3.2(1)
- Cisco Unified CallManager 3.1(3a)
- Cisco CallManager 3.1(2c)

アテンダント コンソール必要条件

次のリストはアテンダント コンソールのための PC 必要条件を提供します:

- Microsoft Windows 98、Windows 2000、または Windows NT 4.0 (最も高い 6) サービスパック ワークステーションかサーバ
- Cisco Unified CallManager へのネットワーク接続

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Cisco CallManager Attendant Console をダウンロードし、インストールします

次の手順を実行します。

1. Download ページ CallManager から最新の Cisco CallManager Attendant Console をダウンロードして下さい。注: このアプリケーションは Cisco CallManagerバージョンでだけ 3.1(2c)、3.1(3a)、3.2(1)、および 3.2(2) サポートされます。
2. クラスタのすべての Cisco Unified CallManager でダウンロードした自己解凍アプリケーションをインストールして下さい。注: これは TCD サービスおよびクライアント プラグインを取り替えている間 TCD サービスを瞬間的に停止します。
3. プログラム ファイルをコピーし始めますの隣でクリックして下さい。
4. の隣で続けますセットアップをクリックして下さい。
5. Finish をクリックして、セットアップを完了します。
6. グローバルディレクトリの下でパスワード 12345 で AC と (他の名前はサポートされません) 呼ばれるユーザを追加し **Enable CTI Application Use** がチェックされることを確かめて下さい。随行人によって使用する電話およびすべての Cisco WebAttendant Pilot ポイントを対応づけて下さい。注: Cisco WebAttendant Pilot ポイントを作成してもらわない場合 [Cisco](#)

[CallManager 3.0 用の Cisco WebAttendant のパイロット グループとハントグループの設定を参照して下さい。](#)

7. Cisco Unified CallManager プラグイン ページから随行人の PC の新しい Cisco CallManager Attendant Console プラグインをダウンロードして下さい。注: アプリケーションはまだ差込式ページの Cisco WebAttendant としてリストされています。
8. 随行人の PC でダウンロードされたプラグインをインストールして下さい。古い TCD/Attendant コンソールと新しい TCD/WebAttendant 間にインターオペラビリティがありません。Cisco CallManager Attendant Console をインストールするために Cisco WebAttendant クライアントをアンインストールする必要はありません。
9. **の隣**で始めますインストールをクリックして下さい。
10. 『Browse』 をクリック することによって適切な宛先 フォルダを > 次< に選択して下さい。
11. インストールが正常だったと言っているメッセージが表示されます。終了するために 『Finish』 をクリック して下さい。
12. Cisco CallManager Attendant Console を開き、すべての必要な情報を提供して下さい Cisco Unified CallManager IP のようなコンソール担当者が使用することまたは電話のホスト名およびディレクトリ番号追加して下さい。注: それらに電話の複数の回線がある場合、電話線を離れてディレクトリ番号を入力することができます。
13. 完了したら、[Save] をクリック します。
14. 付随ログオンおよびパスワード情報を入力し、そしてクライアントアプリケーションのための言語を選択 して下さい。注: なにもない場合 [Cisco CallManager 3.0 資料のための Cisco WebAttendant 付け加えるユーザ](#)に続いて下さい。
15. 終了したら 『Log In』 をクリック して下さい。
16. Cisco CallManager Attendant Console アプリケーションが望ましい行と起動すればオンラインになることができます。注: 行を見るか、またはオンラインになっていたら問題がある場合 [アテンダント コンソールトラブルシューティングガイド \(登録ユーザのみ \)](#) を参照して下さい。

[関連情報](#)

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)